

令和 4 年度 事業報告

豊川市国際交流協会は、平成2年4月1日の設立以来、市民による幅広い国際交流活動を推進することにより、関係各国の相互理解と友好親善を図ってまいりました。

平成24年4月からは、公益財団法人として各種国際交流事業を展開し、令和2年には、財団設立30年を迎えることができました。

令和4年度は、前年度からの新型コロナウイルス感染拡大の影響を引き続き受け、「おいでん祭」等の一部事業の中止はあったものの、各種講座の参加人数は増加し、少しずつコロナ前に戻りつつある年度でありました。

そのような状況の中、事業推進のため、関係団体、ボランティアの方々の御協力をいただき、事業を積極的に展開してまいりました。特に、国際理解講演会の「自転車で世界一周してみた!」、どんな国シリーズの「ハンガリーってどんな国」では非常に多くの市民の方々の参加のもと、高い評価をいただき、事業目的は十分に果たせたものと考えております。また、恒例のワールドフェスティバルでは、「未来へつなぐ、若者ととともに!」をテーマとして掲げ、高校生によるダンス披露、ちびっこ広場の開設、多くの高校生ボランティアの参画のもと、来場者からは満足のいく評価をいただき、結果来場者の増員も図ることもできました。

豊川市の姉妹都市キュパティーノ市へ人的交流が閉ざされる中、三河国分尼寺跡史跡公園で行われた「天平ロマンの夕べ」では一人ひとりの思いを万灯に託し、動画撮影し、キュパティーノ市の「ベルリンギング」への返答として送信しました。

このような事業を通し、今後も、ボランティアの方々や関係団体及び地元企業と連携を強め、公益性を活かしながら時代に即した事業を計画実施します。そして、外国人を含めた市民が安全な環境の中で安心して暮らせるような、より広い視点から国際交流活動を推進してまいります。

公益目的事業 1

諸外国との相互理解と友好親善を深めるための国際交流と国際協力に関する事業

(1) 交流会

コロナ禍で人的交流が困難な中、ホームページやフェイスブックを利用し、地域の人々と外国人との交流を意識し、相互理解と親善を深めるよう努めました。

ワールドフェスティバル2022

「未来へつなぐ、若者ととともに!」をテーマに、高校生によるダンス披露、ちびっこ広場の開設、高校生ボランティアの参画のもと、フェスティバルを開催しました。

開会式では、功労者への表彰、ペルーの舞踊、パチャママ演奏、豊川高校ダンス舞踊を始め、イベントでは、世界のグルメ販売(テイクアウト)、中国桂

林Nゲージの展示、豊川警察署による車両展示及び警察マスコットキャラクター「コノハけいぶ」の参加、豊川市消防署による地震体験車、消防車の展示等、グローバル企業紹介などを行い、国際理解を深め、多文化共生推進の一助となりました。

(2) ジュニアフレンドシップ事業

キッズワールドサマースクール

日 時 令和4年8月6日(土) 午前9時10分～12時

場 所 市総合体育館 サブアリーナ

対 象 市内在住小学校4年生～6年生

参加者 48名(子ども27名、外国人7名、スタッフ等14名)

内 容 子どもたちの国際化への関心を深めるため、外国人との交流タイム、クイズ、ゲームを楽しみながら国際交流を図りました。

(3) 外国人支援事業

開発途上国へ中古衣料などを送る支援のために、支援物資の呼びかけをホームページや機関紙で行い、ズボン、シャツ、セーターなど段ボール2箱分の衣料品が集まりました。

公益目的事業2

地域の国際化を推進するための人材の育成と市民活動支援に関する事業

(1) ボランティア登録・育成・活動の紹介

地域の国際化や外国人支援に関心のある市民を対象に、ボランティアとして募集、登録、育成するとともに、協会で行っているボランティア活動の紹介を行いました。

また、地域の国際化を推進するための人材の育成や多文化共生における市民活動の活性化に向けて支援しました。

① 日本語学習支援、イベント支援等のボランティアの募集・登録

機関誌「We」やホームページ、SNS、チラシに掲載して募集、登録を促しました。

② 情報交換・意見交換会（運営委員会）の開催

協会の事業実施状況、ボランティアグループの活動状況の紹介、情報交換やボランティア活動における課題について、話し合う意見交換会(運営委員会)を毎月1回、年12回、各部会の代表者で開催しました。

③ 日本語ボランティア養成講座の開催

ア 「地域の日本語教室で私にできることって？」

日 時 令和4年10月2日（日）午後1時30分～4時30分

場 所 市勤労福祉会館 視聴覚室

講 師 千葉 月香氏

（あいち地域日本語教育推進センター統括コーディネーター）

受講者 33名

内 容 ボランティアで日本語を教えてみたい人のために、その活動が楽しくスタートでき、さらに当協会の日本語教室でボランティアとして従事してもらえるよう、また既にボランティアで教えている人にとっても、教えてきたことの振り返りを通してブラッシュアップとなる内容でした。

イ 日本語教室見学会

日 時 令和4年10月8日（土） 午後7時30分～8時30分

場 所 市勤労福祉会館 日本語教室実施教室

参加者 14名

④ 日本語ボランティアスキルアップ研修会の開催

『やさしい日本語』を通して考える『伝える』『伝わる』ヒント」

日 時 令和4年9月11日（日）午後1時30分～4時30分

場 所 市勤労福祉会館 視聴覚室

講 師 犬飼 康弘氏

（公益財団法人 ひろしま国際センター 日本語常勤講師）

受講者 35名

内 容 外国人に日本語を教示するにあたり、相手を思いやり、知るという基本姿勢から「やさしい日本語」の重要性と活用のコツ、発話を促すコツを実践に通じた内容でした。

⑤ 市民まつり「おいでん祭」への参加

感染拡大防止の観点から中止となりました。

⑥ 「防災ってお互いさま！～災害時通訳ボランティア及び防災ボランティアコーディネーター スキルアップ研修～」

日 時 令和4年11月13日（日）午前9時～午後0時40分

場 所 市防災センター

講 師 大野 良彦氏（豊川市防災ボランティアコーディネータの会）

平松 佳采氏（豊川市危機管理課職員）

受講者 38名

内 容 発災時、要援護者への支援のため、基礎知識のスキルアップを

図ることができました。

(2) 国際理解講座の開催

人権、環境、平和、防災など地球規模の課題への理解を深め、解決に向けた実践的な行動を起こすことができる市民の育成を狙いとした、講座や講演会などを行うことにより、市民の国際理解を深める取り組みを推進しました。

① 多文化共生課外授業

日 時 令和4年6月5日（日）午前9時～午後0時30分

場 所 市防災センター

講 師 木内 久晃氏（豊川市危機管理課職員）

受講者 11名

内 容 本市の多文化共生社会の実現に向け、日本語教室の学習者とボランティアと一緒に教室外で実践を兼ねた日本語活動を行い、防災意識を高めると共に、日本語の理解を深め、親睦を図ることができる内容でした。

② 「どんな国シリーズ」として、それぞれの国の歴史、風俗、習慣などについて紹介していただき、国際的な知識と視野を広めました。

ア 「カンボジアってどんな国」

日 時 令和4年9月4日（日）午後2時～4時

場 所 市勤労福祉会館 大研修ホール

講 師 チャーイ・ナット氏

受講者 63名

イ 「ハンガリーってどんな国」

日 時 令和5年2月5日（日）午後2時～4時

場 所 市文化会館 大会議室

講 師 コバーチ・エメシエ氏

受講者 91名

③ 国際理解講座

「コーヒーを飲みながら国際理解を深めましょう」

日 時 令和4年6月26日（日）

第1部 午後1時30分～2時45分

第2部 午後3時～4時30分

場 所 市勤労福祉会館 調理室

講 師 春日井 隆司氏（ドリップコーヒーアンバサダー）

（Café Passionnant 香音オーナー）

参加者 29名

内 容 コーヒーを味わいながら、コーヒー豆に関する海外事情を学び、

その食文化をさらに身近なものとして受け止めてもらえるように啓発を図りました。

④ 国際理解講演会

「自転車で世界一周してみた！」

日 時 令和4年11月2日（日） 午後1時30分～3時

場 所 市勤労福祉会館 大研修ホール

講 師 溝口 哲也（オーエスジー(株)エンジニア）

参加者 100名

内 容 自転車で世界一周を挑戦しようとする勇気と行動力からチャレンジ精神を学ぶことができ、さらに、だれにでも人生をグローバルな視線で前向きに捉えることができる内容で、講座を通し国際人の育成に寄与することができました。

(3) 姉妹都市等の交流

キュパティーノ市との交流

「天平ロマンの夕べ」万灯づくり

日 時 令和4年9月23日（日） 午後6時～7時30分

場 所 三河国分尼寺跡史跡公園

参加者 16名

内 容 協会キュパティーノ部会や過去にキュパティーノ市を訪問した方が、史跡公園開催の「天平ロマンの夕べ」で一人ひとりの思いを託した万灯を動画に撮りキュパティーノ市へ送信し、「ベルリンギング」への返答としました。

(4) 外国語講座

語学学習や外国人との会話を通して外国文化に触れ、国際的感覚を養いました。英会話6講座、中国語2講座及びスペイン語1講座を実施しました。

① 英会話講座

ア メアリー先生とノリノリ英会話1（初級）

令和4年5月10日～令和4年7月26日（受講者11名）

イ みんなのための英会話1（初級）

令和4年5月10日～令和4年7月26日（受講者21名）

ウ メアリー先生とノリノリ英会話2（初級）

令和4年9月13日～令和4年11月29日（受講者6名）

エ みんなのための英会話2（初中級）

令和4年9月13日～令和4年11月29日（受講者20名）

オ 英語で自分の意見を言ってみよう！（初中級）

令和4年12月13日～令和5年3月14日（受講者21名）

カ 世界のトピックを英語で話してみよう！（中級）
令和4年12月13日～令和5年3月14日（受講者6名）

② 中国語講座

ア 中国語入門基礎発音徹底1（入門）
令和4年9月15日～令和4年12月8日（受講者8名）

イ 中国語入門基礎発音徹底2（入門）
令和4年12月15日～令和5年3月23日（受講者6名）

③ スペイン語講座

今からチャレンジスペイン語！（入門）
令和4年12月14日～令和5年3月15日（受講者8名）

公益目的事業3

外国人と共に暮らす多文化共生社会の実現に向けた事業

(1) 日本語学習支援事業

外国人住民が日本人と円滑なコミュニケーションをとり、安心して日常生活を送ることができるよう支援するために、日本語教室を開催しました。日本語習得の機会を提供することで、多文化共生社会づくりを推進しました。

① 日本語教室の開催

・夜クラス

時 期 4月～8月(51期)、10月～3月(52期)の毎週土曜日
午後7時45分～午後9時

場 所 市勤労福祉会館

講 師 協会の日本語教室部会員 延べ67名

受講者 67名（51期）、50名（52期）

内 容 入門から上級まで、15クラスに編成して開講しました。

・ひるまクラス

時 期 4月～10月(19期)、10月～3月(20期)の火・水・木曜日
午前10時30分～正午

場 所 市勤労福祉会館

講 師 協会の日本語教室部会員 延べ12名

受講者 延べ20名（19期）、延べ27名（20期）

内 容 入門から上級まで、小グループ又は個人レッスンで開講しました。

② 豊川市日本語スピーチコンテスト（第13回）

日 時 令和4年10月30日(日) 午前9時30分～正午
場 所 愛知県立御津高等学校 体育館
出表者 11名(小中学生9名、高校生以上一般2名)
内 容 令和5年度から御津高校が御津あおば高校と改名し外国にルーツのある生徒の受け入れを開始するにあたり、本協会スピーチコンテストを実施しました。

③ 東三河日本語スピーチコンテスト(第13回)

日 時 令和5年1月29日(日) 午後1時30分～午後4時45分
場 所 蒲郡市民会館 中ホール
発表者 21名(小中学生10名、高校生以上一般11名)
うち豊川市4名(小中学生3名、高校生以上一般1名)
内 容 東三河5市に在住する外国人市民に日本語によるスピーチができる機会を提供し、地域の多文化共生理解を深め、国際交流の推進を図るため実施しました。

④ ひらがな新聞発行业

「We やさしいにほんごばん」を発行しました。

(2) ペクラ事業

この地域に在住するラテンアメリカにつながる子どもたちが、母国語や日本語で円滑なコミュニケーションをとれるよう、母国語教室及び日本語教室を開催するとともに、学習支援などを通して、多文化共生社会づくりの促進を図りました。

① 小中学生学習支援クラス

日 時 4月～3月の月3回土曜日 午後1時～5時
年間37回開講
場 所 主に市社会福祉会館(ウィズ豊川)
講 師 協会ボランティア9名、ポルトガル語・スペイン語講師各1名
学習者 延べ46名
内 容 母国語、日本語及び学校の教科の学習支援を行いました。

② アトリエ

日 時 4月～8月の第1、2、3土曜日 午後6時～8時
※ 参加者が減ったため、9月から活動停止
場 所 主に市社会福祉会館(ウィズ豊川)
講 師 専門講師(1名)
参加者 2名(中学生)
内 容 ラテンアメリカの子どもたちに母国の文化の伝承や母国についてより深く知ってもらうため、主に民族舞踊を教えています。

(3) 外国人支援講座

日本で生活するための社会制度などの講座や相談会を行いました。

外国人のための税務相談会

日 時 令和5年2月19日（日） 午前10時～午後3時40分

場 所 市勤労福祉会館大研修ホール

協 力 市民税課、東海税理士会豊橋支部

参加者 25名（ブラジル24名、ペルー1名）

内 容 市内在住の外国人の方への確定申告の支援をし、地域の人と共に暮らす多文化共生社会の一助としました。

(4) 外国人多言語相談事業

外国人市民が抱える問題に対し、母国語で相談できるよう住民に関する生活情報等の収集、提供を多言語で行うことにより、外国人市民への生活支援の充実を図ることで、多文化共生社会づくりを推進しました。

- ・ポルトガル語、スペイン語、中国語、英語による生活相談及び情報提供
- ・相談件数 80件

(5) 翻訳事業

住民、行政機関、各種団体からの翻訳の依頼に対し、必要な翻訳を行い多文化共生社会づくりに寄与しました。

個人から行政機関等に提出する公文書、市役所等が外国人向けに提供する行政情報及び公的な文書の翻訳

通年にわたり、ポルトガル語、スペイン語、中国語、英語の通訳、翻訳などを行いました。

公益目的事業4

地域の国際化を推進するための調査研究及び情報提供に関する事業

(1) 機関誌発行事業

地域の国際化に関する情報を市民や関係団体に情報提供することで、市民レベルのボランティア活動の推進と地域の国際化を図りました。

- ・機関誌「We」の発行

発行回数・部数 年2回（4月・10月）2回で2,000部

(2) 広報とよかわ「インフォルマ」スペイン語版翻訳事業

日本語がわからないために情報格差が生じがちな外国人市民に対し、市広報の

行政情報の一部を母国語で提供するための翻訳の協力をしました。

・「インフォルマ」

発行回数・部数 年12回 1,800部 /回

(3) 協会ホームページの運営

広報手段として重要なホームページを管理・運営することにより、生活に必要な情報を速やかに提供するとともに、協会の事業やボランティア活動に参加を促し、地域の国際化の推進を図りました。

・ ホームページでの情報提供

本協会の行事予定や活動状況、語学講座や文化講座等について、より多くの方に情報提供し協会事業への参加を促すための情報発信を行いました。

(4) ざっくばらんに話そう

高校生、大学生、留学生、市内グローバル企業の社員、警察官、国際経験豊富な方々と大勢の参加があり、ワールドカフェ方式にて、海外や外国人に関わる経験や話題を本音でディスカッションをしました。

日 時 令和4年12月11日（日） 午後1時30分～3時30時

場 所 市勤労福祉会館 視聴覚室

参加者 44名

内 容 色々な人と海外体験、外国人交流体験の話ができ、英語についての認識や海外情報も得られたとの感想をいただき、8割以上の方から参加した甲斐があったと好評でした。ここ数年、若者の人材育成を主眼に実施してきましたが、幅広い世代を対象に国際理解、多文化共生推進を含めた主旨での開催で良いのではないかとの結果が得られました。

附属明細書

令和4年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書の「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しません。